

令和3年度 第1回 学校評議員会

日 時：令和3年7月28日（水）

・8時45分～9時35分 授業公開

・9時50分～11時20分 評議員会

場 所：本校多目的教室

出席者：学校評議員5名 学校職員11名

次 第：

1 開会

2 学校評議員委嘱

3 学校長挨拶

・今年度の新しい取り組みについて

① SSH第5期の1年目として新たなミッションでスタートしたこと。

② 1人1台PC端末。Wi-Fiの環境を整えてきた。教員の今後の対応として、このPC端末を生かしていかなければならないこと。

③ 現在、令和4年度から進学型の単位制をめざしていること。

4 学校からの説明

(1) 附属中学校の主な取り組み

(2) 高校の主な取り組み

(3) キャリア教育について

(4) 生徒指導について

(5) 生徒相談について

(6) 生徒会について

(7) SSHについて

(8) 学校評価について

5 学校評議員よりご提言

・不登校生徒と呼んでいるがもっとプラスイメージになる言葉はないものか。不登校に変わる名前があればいいと思っている。

- ・電話対応は大変なので、グーグルフォームによる出欠確認はとても良いことだと思う。ただ、保護者が慣れていないといった問題もあり、電話をしてくる家庭も多い。
- ・進学型単位制の導入は大変良いことだ。先生方の加配もあるようなので楽しみにしている。
- ・コロナの影響が大きかった中で、スタディーサポートのデータをみても、生徒は良く伸びたと思う。伸びた学校とそうでない学校があったことを聞いている。
- ・自分の学生だった頃より多様性、生徒の自主性を尊重するのはたいへん良いことだ。ただ、選択肢をうまく使えない生徒は立ち止まってしまうのではないか。充実したカリキュラムはよいが、なぜそれが良いのか誰もが使いこなせるような取り組みをしてほしい。引っ込み思案の子を基準にしてもらって周知してもらえれば嬉しい。
- ・これだけの結果を出せるのは敬意を称する。羨ましい。先生方の指導のたまものである。
- ・附属中学校入学者選抜に関して、男女の募集枠がなくなる。得点だけでなく面接とかいろいろな面で将来性や光るものを見つけて、数字だけでないものも見て、合格者させてほしい。
- ・入学者選抜では、何かプラスして試験ができたらいいかもかもしれない。
- ・SSH 5期に入るのは3校目。日本全国で屋代1校になるかもしれない。すごいことになる。SSHの評価のところは、自己評価と外部評価を合わせて考えていくことが大切。高校としてアセスメントポリシーが大切。独自のアセスメントポリシーを設定する。これを基準にするんだとハッキリ出すとよいかも。PDCAは特に大切だと思う。
- ・様々な新しいことをやろうとされていることは良いことだが大変である。外部の力をうまく利用するのが大切である。同窓会などと協力してやっていると文科省のうけも良くなる。いろんなところを巻き込んでやっていると良いのではないか。
- ・生徒個々がやるようなときには、きめ細かく生徒を見て欲しい。
- ・子供2人が屋代でお世話になった。下の子は理数科。子供の様子を見てみると勉強はきつそうであった。学校での仲間は良かったと言っている。いま、卒業させて子供たちを見てみると、親として、この学校で良かったと思っている。

6 諸連絡

7 学校長御礼・閉会挨拶

今回は1回目なので学校の目指していることを中心にお話させていただいた。それぞれのお立場でご発言いただき、ご協力をお願いしたい。出来るだけ多くの情報を出して判断していただきたいと思っている。本日はありがとうございました。